

荏原グループ CSRレポート

編集方針



CSRレポート発行の目的

荏原グループはステークホルダー（荏原グループと関わる社内外の様々な利害関係者）とのコミュニケーションを図りながらより信頼される企業へと成長していくことを目指しています。

- C=Corporate 荏原グループ(企業)が
- S=Social 社会に対して果たすべき
- R=Responsibility 責任

荏原グループがCSRにどう取り組んでいるかをステークホルダーに報告し、ご意見やご協力をいただくことを目的として発行します。

荏原グループ CSRレポート2010について

発行年月日：2010年8月10日

制作：荏原グループCSR活動企画委員会

発行：(株)荏原製作所CSR統括部 CSR企画室

報告期間：2009年4月1日～2010年3月31日

この期間以外は注釈記載

報告範囲：日本国内の荏原グループ連結会社

これ以外は注釈記載

報告内容：荏原グループのCSR活動

次号発行予定：2011年8月

本レポートでの社名表記について

荏原：(株)荏原製作所単体を指します。

荏原グループ：荏原と荏原の子会社、関連会社を指します。

CSR課題の設定プロセス

- CSR活動を特別な取り組みと考えるのではなく、「事業目標や業務目標の達成、日々の業務を誠実にやること」がステークホルダーとの良好な関係、社会からの信頼とどう関わるか、という観点からCSRの課題を考えました。

荏原グループ CSRレポート2010のテーマ

- 荏原グループ全体でCSR活動に取り組んでいることをより明確にするために、グループ各社の活動成果もより多く報告するよう努めました。
- 従業員、顧客、取引先、株主・投資家を主要なステークホルダーととらえています。また、地域・社会及び環境への配慮、情報セキュリティを重要なCSRテーマととらえています。
- 更に詳細な情報は荏原グループ各社のホームページと合わせてご覧いただけるようURLを記載しました。

ステークホルダーの声に答えて

- 2009年度CSRレポートに対して、役員と従業員1,102名、社外18名からアンケート回答を得ました。更に、従業員を対象に「CSRレポートを読む会」を3回開催し、46名が参加してステークホルダーの目線に立って荏原グループのCSRについて考えてみました。もっと荏原グループらしさをお伝えしたい、グループ全体での取り組みをお伝えしたい、という従業員の声をこの2010年版に反映させるよう努めました。

- 武蔵野大学の学生から「リクルート目線」で荏原グループのCSR活動への評価をいただき、人事部門とCSR部門とともに報告会を開催しました。働きたいと思える会社かどうか、という視点で意見交換し、「従業員とともに」のページに諸制度の利用状況などのデータを追加しました。



武蔵野大学との意見交換

- 2009年度に第三者所感でいただいたご意見「CSR活動のしくみづくり」に関しては、CSR活動企画委員会を中心に、2008年度に続き2009年度もCSR活動レビューを行いました。また、業務の課題を「CSR」の側面から考えられるよう、全従業員を対象としてCSR研修を開始しました。2008年度には150件だったCSRレポートへの従業員アンケートが2009年度には1,102件に達したことはCSRへの関心の高まりを示すものと理解しています。